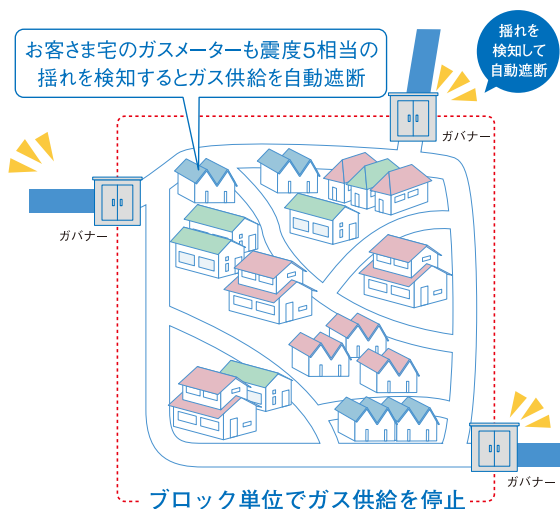


復旧作業の流れ

ブロック単位でガス供給を停止

被害の大きいエリアのみガス供給を停止し、被害の小さいエリアにはガス供給を継続するため、ガス導管網を分割し、地震ブロックとして設定しています。

一定以上の大きな揺れを検知した場合、ガバナー（圧力調整器）がガス供給を自動遮断し、ブロック単位でガス供給を停止します。



ガス管を点検

道路などに敷設されているガス管の漏れ調査を行い、漏れ箇所を特定します。



ガス管を修理

道路を掘削し、破損しているガス管を修理します。



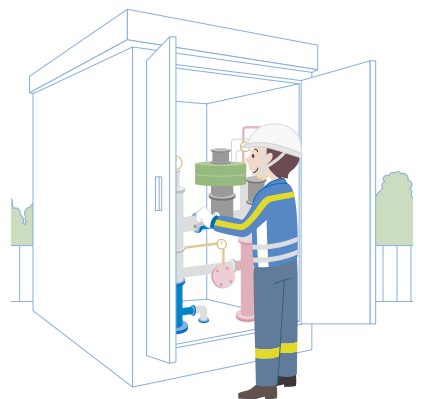
お客さま宅のメーターガス栓を閉栓

ガス供給を停止したブロック内のすべてのお客さま宅を訪問し、メーターのガス栓を閉栓します。



ガバナーを再稼働

ガス供給を停止したブロックへのガス供給を遮断しているガバナーを再稼働させます。



供給停止ブロックを分割

被害の状況・規模に応じて効率的に復旧を進めるために、ガス供給を停止したブロックをさらに地域ごとに分割します。



お客さま宅のガス管・排気筒などの点検、メーターガス栓の開栓

お客さま宅を訪問し、お客さま立ち会いのもとでガス管・排気筒などの点検を行います。ガスが安全に使える状態であることを確認し、メーターガス栓を開栓して、ガスのご使用を再開します。

